



緑と風と光の家

House for Green, Breeze and Light
東京都大田区

矢板建築設計研究所
Yaita and Associates

リビング・ダイニングからエントランス、インナーバルコニー、パーゴラ下の空間を介して親族の住む隣家の庭まで望む。ガラスとステンレスの飾り棚に隣家の緑が映り込み、内部から外部へ、連続しながら緑を採り込んでいくレイヤー状の空間が構成される。左が玄関。



環境に応える

この住宅は、先代から慣れ親しんだ土地の一部を受け継ぎ、親戚の住まう家に隣接した敷地に建つ、夫婦ふたりのための住まいである。

ここ田園調布は、渋沢栄一の描いた、風通しのよい高台に緑に溢れた田園都市をつくるという1923年の分譲当時の理念を守るため、道路からの2mのセットバックや緑の保全などが田園調布憲章として定められ、現在まで引き継がれている。敷地は道路に接してつくられた大谷石の擁壁の上にあり、東面は大きく梢を延ばしたサクラ並木に面している。こうした敷地の特徴を最大限に生かすように設計を進めた。

まず、敷地角には道路に沿った大谷石のかたちを写してコーナーの丸いL型の壁を建て、これにサクラ並木の景色を切り取るよう、大きなピクチャーウィンドウを開けた。

L型の壁沿いには2層の細長い吹抜けを設け、上部にトップライト、壁の両端には、2層の高さの通風用スリットを設けている。リビングでL型壁の前に立つと、明るく照らし出されたサクラ並木の緑が目飛び込んできて、トップライトからの光とスリットからの風が祝福してくれる。

振り返って親戚の家の方向に目を向けると、隣家の緑に溢れた領域まで、いくつもの空間がレイヤーとなって連続し、昔からあった緑が重なり合い包み込んでくれる。

最初のレイヤーはガラスとステンレスの飾り柵で、ここに緑が写り込み増幅される。柵の向こうの次のレイヤーはインナーバルコニーで、玄関と階段室の役割を担う。外に出ると西側にはパーゴラがあり、インナーバルコニーの空間をさらに外に連続させ、入口の外部空間を形成する。

このパーゴラ下の空間は、地区計画に規定される、隣地から1mセットバックしたところにある高さ1.2mのコンクリートの塀と、植栽帯で構成されるレイヤーで緩く枠取りされ、隣家の緑へと受け継がれている。

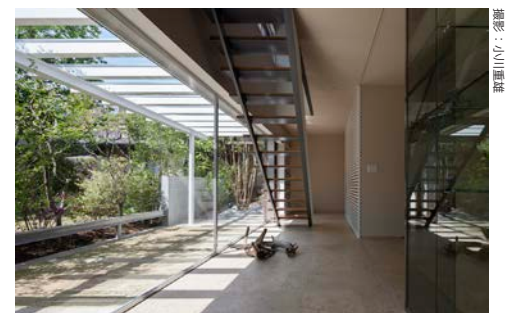
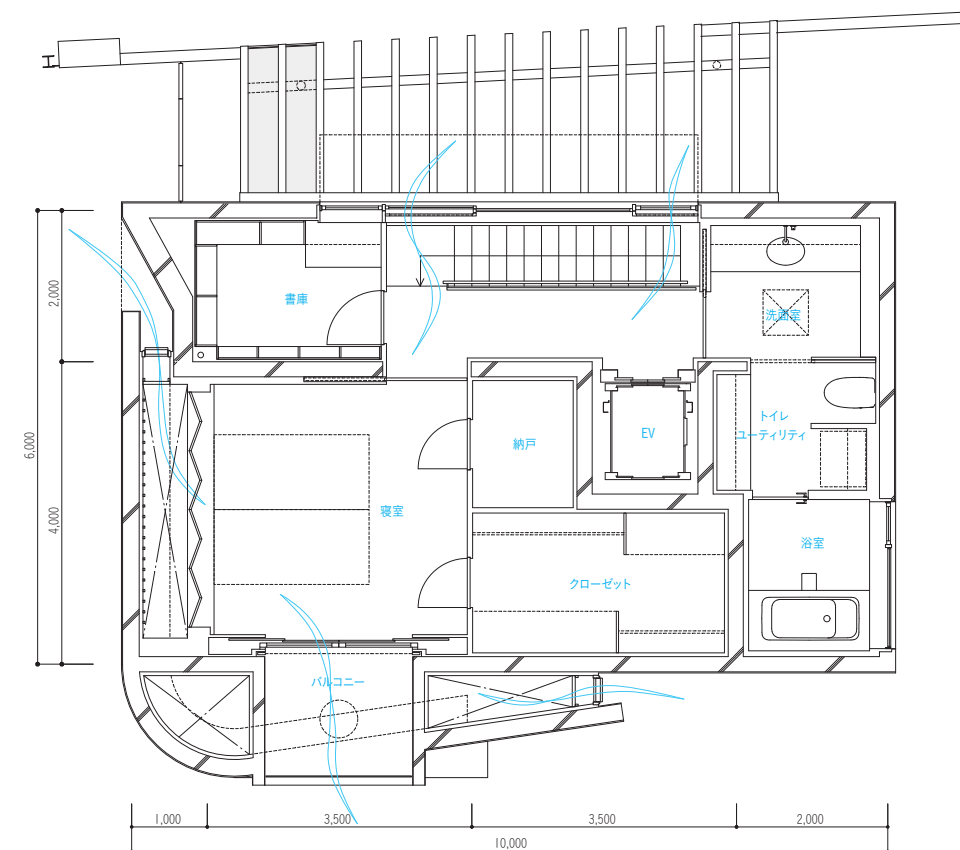
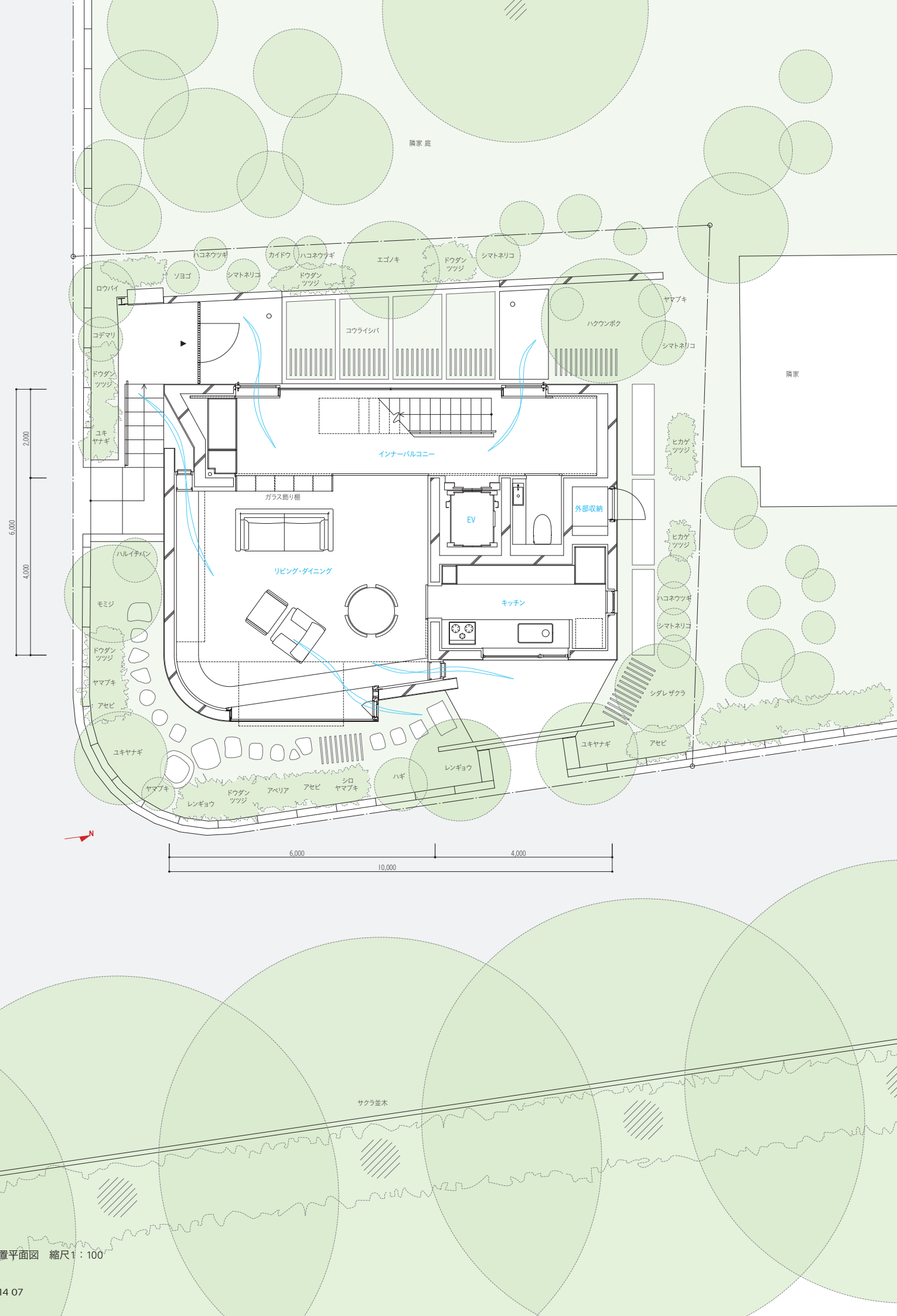
2階の寝室は、1階から立ち上がるL型壁と細い吹抜けに囲まれ、サクラ並木を愛でるためのバルコニーが、この吹抜けを渡って外へと開かれている。南側は唐紙を貼った屏風折戸で仕切られ、開ければ爽やかな風と光に満たされる。

この地の特性を引き出そうと設計を続けたが、最後には、風通しのよい高台に緑溢れる田園都市の理念そのものが、強く反映された家となっていることに気付いた。

あたかも、緑陰の中のフォリーで寛ぐように。

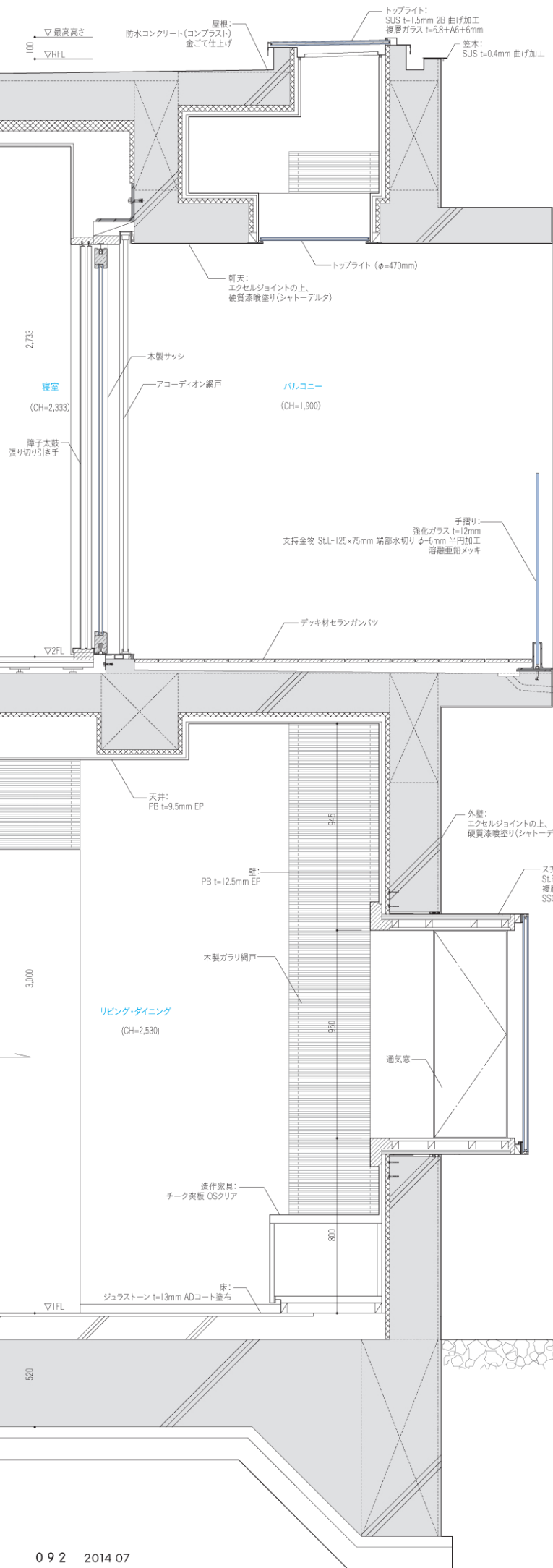
(矢板久明+矢板直子)

南側外観。緩やかな傾斜のある角地に建つ。田園調布憲章等に倣い、道路や隣家からセットバックをする中で、建物は敷地中央に置かれ、外周は植栽で囲われる、隣家や周辺の緑と連続する構成が生まれた。薄い緑色の塀は大谷石で組まれた既存のものを改修。抽象的な立面をもつ南面のスリットには、内部にルーバー窓が嵌め込まれ、L型の曲面壁を介して風や光が室内へともたらされる。



上：東側外構。左手のリビングに位置するピクチャ・ウィンドウは、東面の道路に対して平行なL型壁面に対して斜めに張り出しており、北側に面したスリットから風を採り入れる。／下：インナーバルコニー。隣接する外部空間にパーゴラを設け、中間的領域として扱うことで連続性を出している。

写真：須藤



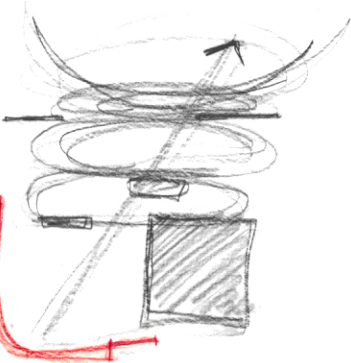
Space in Detail

空間の起点となるL型壁と ピクチャ・ウィンドウ

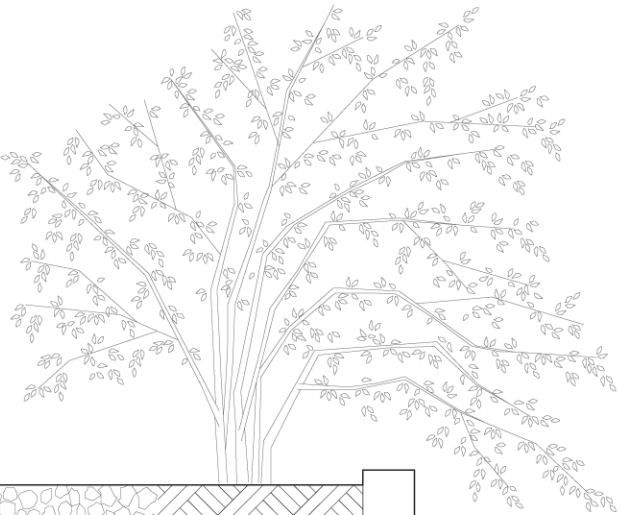
敷地のコーナーに置いたL型壁は、隣の敷地まで連続する緑の空間レイヤーを受け止め、壁を照らすトップライトからの光も手伝い、この壁の前に緑に包まれたような感覚を覚える場所＝リビング・ダイニングを創出する。

一方、この壁にはサクラ並木の景色を切り取るピクチャ・ウィンドウが開けられている。この窓は構造用シーリング材を用いて、ガラスを枠に貼り付けた納まりを採用し、景色を絵の様に切り取る。そして、直交するふたつの前面道路のわずかな角度差を平面に反映させ、そこに生まれた三角形平面の短手の面に通風用の窓を設けた。部屋内からは、この出窓全体は大きめの枠で額のようにくり、部屋にとっての絵画であるがごとく扱った。

(矢板)



コンセプトスケッチ



大谷石壁:
既存大谷石壁改修
天然石スライズバーン表層圧着貼り

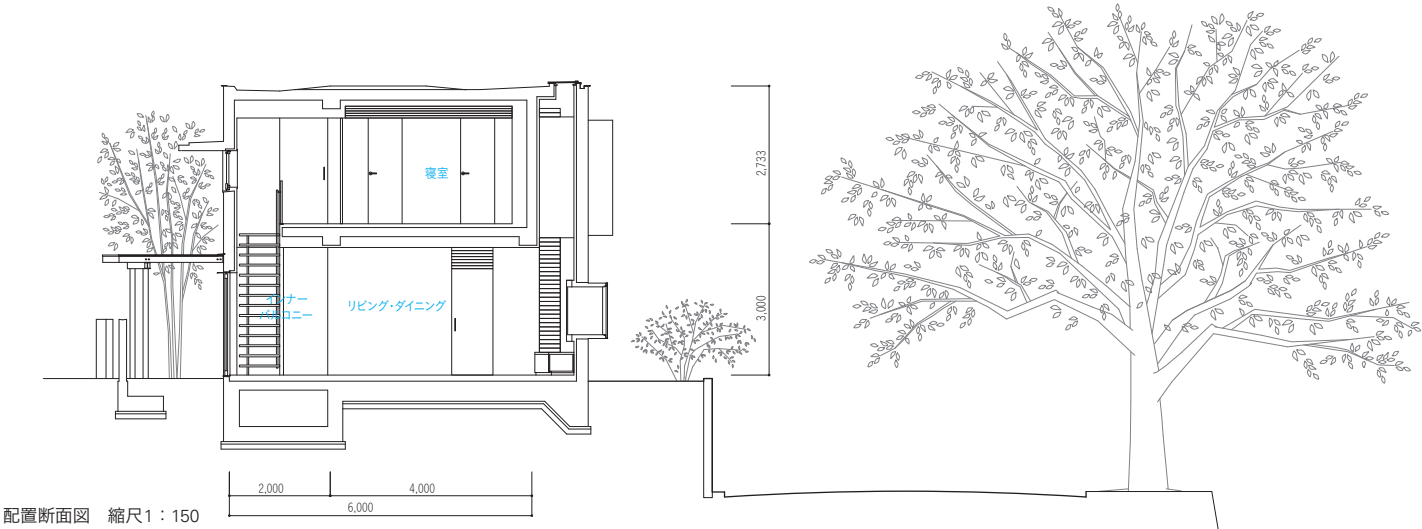
矩計図 縮尺 1:25



1階リビングのピクチャ・ウィンドウ。額縁を回すように枠を設けている。曲面に沿った細長い吹抜けに2階のバルコニーが入れ子のように貫通。L型壁は、コアとの間に生まれるスリットから採光や通風、緑への眺望を担保して、空間へと作用する。ピクチャウィンドウの大きさは3,180×950mm。



2階寝室からバルコニーを見る。強化ガラスの手摺りは外部の緑への景観を遮ることなく安全性を担保する。



配置断面図 縮尺1：150



左：リビング見上げ。スリット上部の吹抜けを見る。*／右：寝室。唐紙の貼られた屏風折戸の先は、L字壁に凹凸が付けられた不思議な質感の壁に反射した、トップライトからの光が柔らかく落ちる。

緑と風と光の家

所在地／東京都大田区
主要用途／専用住宅
家族構成／夫婦

設計

矢板建築設計研究所
担当／矢板久明 矢板直子 栗原佳子
構造 構造計画プラス・ワン
担当／金田勝徳 高橋邦広

設備 島津設計 担当／島津充宏 一色麻子

施工

担当 大同工業 担当／後藤武史
鉄筋 日進 担当／石橋勇児
型枠 ティアイケイ 担当／森但
左官 八木 担当／八木健治
塗装 高柳塗装 担当／高柳修
金属 岡村金物店 担当／山瀬修
石 コアド&マテリアルズ
担当／木本浩司 三原悠
家具 イシモク 担当／石川吉則
建具 高橋建具店 担当／高橋一徳
千葉木工製作所 担当／千葉信彦
東京松屋 担当／川嶋利行

衛生 見上総合設備 担当／見上修一
空調 ダイキンエアテクノ 担当／中島秀介
電気 熱海電設 担当／熱海清治
外構・造園 箱根植木 担当／保永博文

構造・構法

主体構造・構法 鉄筋コンクリート造
基礎 直接基礎

規模

階数 地下1階 地上2階
軒高 6,022mm 最高の高さ 6,122mm
敷地面積 179.43m²
建築面積 68.86m²
(建蔽率38.38% 許容40%)
延床面積 123.68m²
(容積率68.93% 許容80%)
地階 21.63m² 1階 65.23m²
2階 58.45m²

工程

設計期間 2012年5月～2013年3月
工事期間 2013年4月～2014年4月

敷地条件

地域地区 第一種低層住居専用地域 準防火
地域 第一種高度地区 第二種風致地区
田園調布地区計画 環境保全及び景観 維持に係わる規定(田園調布会)
道路幅員 東7.27m 南7.27m

外部仕上げ

屋根／防水コンクリート 金こて仕上げ(コンラスト／東亜貿易)
外壁／エクセルジョイントの上硬質漆喰塗り
シャトーデルタ(渋谷製作所)
開口部／特注ステンレスサッシ 特注スチールサッシ(浅間鋼機) 木製サッシ(モロース) アルミサッシ(三協立山アルミ)
外構／テラス床：コンクリート金こて仕上げ
一部洗い出し仕上げ
テラス壁：コンクリート打放し仕上げ
大谷石塀：既存大谷石改修 天然石スライス
バーン表層圧着貼り(石高)

バルコニー／床：デッキ材セラランガンバツ
t=20mm (ウッドハート)

内部仕上げ

リビング・ダイニング インナーバルコニー
床／ジュラストーン t=13mm ADコート塗布
壁／PB t=12.5mm AEP
天井／PB t=9.5mm AEP
製作家具／ガラス飾り棚(ステンレス：岡村金物 ガラス：G.PO)

キッチン

床／ジュラストーン t=13mm ADコート塗布
壁／PB t=12.5mm AEP 一部タイル貼り

天井／PB t=9.5 mm AEP

厨房機器／キッチンナ ブライト仕上げ
換気扇／ARIAFINA
シンク水栓金物／GROHE

浴室

ハーフユニットバス(TOTO)
壁／200mm角 磁器質タイル貼り
天井／珪酸カルシウム板 t=6mm 2枚張り UP
シャワー水栓金物／TOTO
空調機器／浴室暖房乾燥器

寝室

床／チークフローリング t=14mm (ウッドハート) OS
壁／PB t=12.5mm AEP
天井／PB t=9.5 mm AEP
建具／屏風式折戸 障子太鼓貼り切り引手(東京松屋)

洗面室

床／チークフローリング t=14mm (ウッドハート) OS
壁／PB t=12.5mm AEP 一部大理石モザイクタイル貼り(アドヴァン)
天井／PB t=9.5 mm AEP
洗面カウンター／ストーンイタリアーナ t=20mm
洗面用水栓金物／VOLA CERA
暖房方式／電気ヒーター (PS)

設備システム

空調 冷暖房方式／空冷ヒートポンプ式
換気方式／第三種換気方式
その他／床暖房

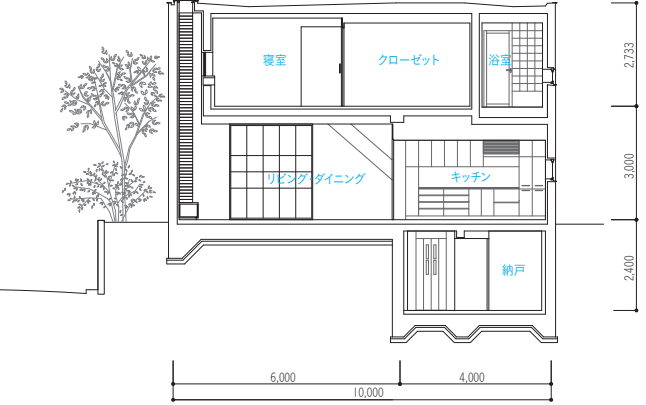
給排水 給水方式／上下水道直結
排水方式／下水道接続

給湯 給湯方式／ガス給湯器
昇降機 ホームエレベーター(三菱日立ホームエレベーター／東菱)

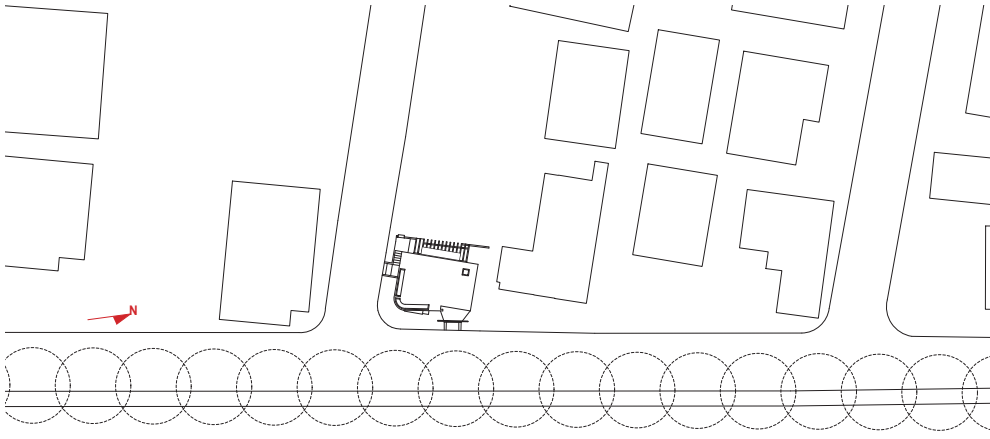
撮影／新建築社写真部
*提供：矢板建築設計研究所
家具協力：カッシーナ・ジャパン



東側外観。1階キッチン・エレベーターのコアの下部に、傾斜地を利用した納戸と勝手口機能をもつ地下が位置する。外構は基壇の上に設えられた。*



断面図2 縮尺1：200



配置図 縮尺1：1,000